

2. パネルディスカッション 1

(1) 話題提供 1 : シンサイミライ学校のビデオ視聴

コーディネーター 金井 昌信 (群馬大学大学院 准教授)

ビデオ視聴について

東日本大震災のあと、NHKの「シンサイミライ学校」という番組で、3年前に田辺第一小学校と高雄中学校で片田先生が授業をしております。一つ目のパネルディスカッションでは、田辺第一小学校で行った授業の様子を見ていただき、それを踏まえて、今後防災教育を行っていくうえで、「何を考えていったら良いか」という点を議論の中心に据えてディスカッションしていけたらなと思っています。

まず、片田先生が“一体どんな授業をしたのか”、“その授業を通じて、子どもたちがどんな反応をしたのか”という点に着目して映像で見ていただければと思います。

東日本大震災後、田辺第一小学校では防災の授業を行っていました。そのうえで、このシンサイミライ学校の授業は行われています。当時の防災の授業といえば、「東北ですごいこと起きたね。田辺も次に来るかもしれないよ。こんな大きな津波が来たら、こういうふうにはちゃんと逃げなきゃいけないよ。」という“ちゃんと逃げようね”“逃げるときはどういうふうにしようね”という“知識”を教える授業が主だったと思います。そのような授業をすれば、震災の映像を見た子どもたちは「すぐ逃げる」と言うに決まっています。それでは、本当にその「すぐ逃げる」と言った子どもたちは“ちゃんと逃げられるのか?”という点を、片田先生が突っ込んでいった授業の内容になっているかと思っています。

